

# M型 取扱説明書 M-50/M-100/M-200

村上式上皿天びん



1010



141117

〒535-0005 大阪市旭区赤川2丁目10番31号

株式会社 村上衡器製作所

URL: <http://www.murakami-koki.co.jp/>

TEL: (06)6928-7571(代) FAX: (06)6928-1099

## 1. 部品の点検

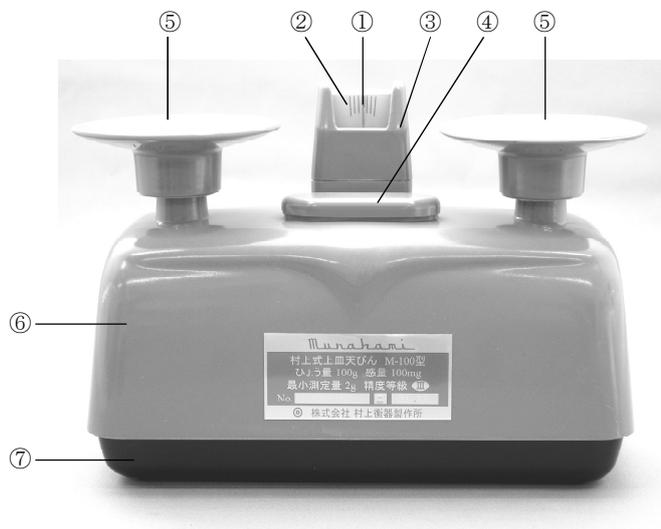
下記の部品が揃っているかを確認下さい。

- ・皿⑤ 2枚
- ・組分銅(分銅及ビレット) 1組

品番	型名	ひょう量	感量	皿径	概略外形寸法	本体重量
1320	M-50	50g	50mg	70mm	192(W)×78(D)×132(H)mm	540g
1030	M-100	100g	100mg	70mm	192(W)×78(D)×132(H)mm	540g
1060	M-200	200g	200mg	76mm	197(W)×78(D)×132(H)mm	540g
	M-50型 (ひょう量: 50g)		20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, 50mg, ビレット			各1個
	M-100型 (ひょう量: 100g)		10g, 2g, 200mg			各2個
	M-100型 (ひょう量: 100g)		50g, 20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, ビレット			各1個
	M-200型 (ひょう量: 200g)		10g, 2g, 200mg			各2個
	M-200型 (ひょう量: 200g)		100g, 50g, 20g, 5g, 1g, 500mg, 100mg, ビレット			各1個
			10g, 2g, 200mg			各2個

## 各部の名称

- ① 指針
- ② 度表
- ③ 度表カバー
- ④ ゼロ点ツマミカバー
- ⑤ 皿
- ⑥ 天びんカバー
- ⑦ 基台
- ⑧ ゼロ点ツマミ



外観図及びゼロ点ツマミ

## 2. 組立・設置方法

- 2-1 器物番号が皿⑤の裏側に表記してありますから、これが本体のネームプレートの番号と一致しているかお確かめ下さい。
- 2-2 この天びんは精度（ひょう量と感量の比）が、1/1000と精度の高い計量器ですから、直射日光をさけ湿気・振動・風のないところで、水平に保って使用・保管願います。
- 2-3 皿⑤の裏側には1・2の番号が表記してありますから、向かって左側の皿受け棒に1の皿⑤を右側の皿受け棒に2の皿⑤をのせて下さい。

## 3. 性能検査方法

- 3-1 皿⑤の上に何ものせずに、本体中央部にあるゼロ点ツマミカバー④の右端を持って手前に開き、ゼロ点ツマミ⑧を左右に回して指針①が度表②の目盛線の真中を中心として、左右に等しく円滑に振れるよう調整します。（0点の調整）
- 3-2 感量に相当する分銅を片方の皿⑤にのせて、指針①が約1/2目盛以上振れるか調べて下さい。（感度の確認）

## 4. 使用方法

### 【決まった質量（一定量）の試料をはかりとる場合】

- 4-1 左の皿⑤に決まった質量に相当する分銅をのせて下さい。
- 4-2 右の皿⑤にはかりとりたい試料をのせて指針①が中心から左右に等しく振れるようになれば、はかりとり完了です。

### 【試料の質量をはかる場合】

- 4-3 左の皿⑤にはかろうとする試料をのせて下さい。
- 4-4 右の皿⑤に分銅を重い順にのせて指針①が中心から左右に等しく振れるようになったとき、のせた分銅の合計が求める試料の質量です。

## 注意

- 1 ご使用前に前項3の性能検査を必ず行って下さい。
- 2 左利きの人は試料と分銅の位置を反対にして使用して下さい。
- 3 皿⑤を汚すおそれのある試料をはかる場合は、紙片などを皿⑤に敷いてその上に試料をのせて下さい。また試料がついたときはきれいにふきとって下さい。
- 4 分銅はピンセットで扱って下さい。

## 5. 使用上の注意

故障や誤計量をさけるため下記の注意事項をお守り下さい。

- 5-1 分銅及び試料は皿⑤の中央にのせるようにして下さい。
- 5-2 本体の水洗いや内部への注油等は絶対にしないで下さい。
- 5-3 保管する際は、湿気の少ない、腐食性ガス等が発生しない場所に置くようにして下さい。

## 6. その他

- 6-1 天びんカバー⑥内部の清掃は、本体底部のネジを外すことにより簡単に行えます。
- 6-2 部品違いや故障その他のお問い合わせは販売店又は弊社までご連絡下さい。
- 6-3 補修用部品及び補充用分銅の販売も致します。